



みや なり あき よし
宮 成 昭 義

人口増加策の取り組みは

～ 行政内の連携を密にし、増加策を展開～

質

合併時に比べ約3400人の人口減となっているが、人口増加策の取り組みと、今後の促進対策をどのように捉えているのか。

答 市長
住環境の整備として合併浄化槽設置補助金や公営住宅の整備、定住住宅補助金、空き家バンク制度の導入、中

学生までの医療費の無料化、道路網の整備、企業誘致など多くの取り組みを行ってききました。

具体的な対策については、これまでの事業を検証しながら、行政内の連携を密にし、きめ細かな実効性のある施策を展開していきたいと考えます。

葬斎場の早期完成を

～ スピード感を持って対応～

質

三重葬斎場2炉を3炉、大野葬斎場1炉を2炉にする計画の説明を平成24年1月に受け、平成26年度内の完成を目指すとのことだが、平成25年度内での完成を目指す考えは。

答

環境衛生課長

スピード感を持って対応していくが、現状の進捗状況からして平成25年度内での完成は厳しい状況です。

千歳支所での空き部屋の利活用は

～ 可能な限り有効利用～

質

教育委員会の転居に伴う千歳支所2階での空き部屋の利活用は。

答

財政課長

空きスペースになることから、管理面や安全面を考慮し、可能な限り有効利用していきたいと考えています。

質

新庁舎完成に伴う旧庁舎の跡地利用は。

答

まちづくり推進課長

庁舎建設基本構想に基づき、新庁舎完成後に現庁舎を解体し、主に駐車場として整備する方向で進めています。



千歳支所

「幼小中一体学校の創設」
新しい形での学校の誕生を期待

～ 来年度からモデル校を指定 ～



わだ てる はる
和田 哲 治

質

本市も過疎・少子化に伴い、小学校の統合が行われているが、これにより小学校と中学校で校舎・敷地を共用する「小中併設校」が存在している。
地域の過疎化が進む中、学校・家庭・地域が一体となった「教育環境づくり」が期待できる「幼小中一貫校」の創設を求め、そのモデル校設立の考えはないのか。

答
教育長

本市の学校が抱える課題は、児童生徒数の減少問題であり、毎年約40人の減少が推測され、学校規模についても8割の学校が1学年1学級の小規模校です。
具体的なモデル校の姿は、隣接する小中学校で、カリキュラムや教育目標に一貫性を持たせ、学校行事を合同実施することによって、一体感のある教育活動を展開します。
来年度からモデル校を指定しながら積極的に取り組んでいきたいと考えています。

質

①千歳町に開設していた「幸寿美術館」も廃館されて2年が経過。「常設展示場を視野に入れた場所を検討する。」とのことであったが、その後の検討はいかに進んでいるのか。
②寄贈品の総数（123点）は、現在でも台帳どおり保管管理されているのか。

答
市長

①平成23年度は開催していないが、近く完成する新庁舎や千歳支所の2階空きスペースにも展示することができないか、今後、検討していきます。

「ふるさと千歳村に残したい」
常設の幸寿美術館しゆくしゆびいんの設置を願う
定期的な絵画展を開催

②保管管理については、一部台帳と保管場所が違う作品があったので台帳を訂正し、現在は台帳どおり保管しています。



大野支所に展示されている作品